

平成 27 年度
事 業 報 告

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

《 目 次 》

総 括	1
具体的な取り組み	2
I 国際障がい者スポーツ総合大会への選手及び役員の派遣	
1 2015 年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・ロサンゼルス	2
2 障がい別総合国際大会への派遣	2
II 競技力向上対策の推進	
1 競技団体が行う強化活動に対する助成.....	3
2 選手発掘事業	3
3 コーチ力強化事業	3
4 競技団体基盤強化事業	4
5 医・科学・情報サポート推進事業の実施	5
6 リオ 2016 パラリンピック競技大会事前現地調査.....	5
7 強化活動実施状況視察	6
8 競技別指導者養成事業	6
9 強豪国強化拠点視察	6
10 アスナビ事業(トップアスリートのための就職支援)	6
11 選手強化対策委員会	6
12 アンチ・ドーピング活動の推進	7
13 クラス分け戦略の検討	9
14 ジャパンパラ競技大会の開催	9
15 競技別大会	11
III 障がい者スポーツの普及・振興	
1 第 15 回全国障害者スポーツ大会(和歌山県大会).....	11
2 競技別大会	12
3 障がい者スポーツ指導者の育成	12
4 地域における障がい者スポーツの振興事業	14
5 障がい者スポーツの広報	16
6 調査研究事業	17
IV 事業活動推進のための体制強化	
1 日本の障がい者スポーツの将来像(ビジョン)の推進	18
2 倫理・コンプライアンスに関する取り組み	18
3 国庫補助金と助成団体助成金の確保	18
4 JPSA オフィシャルスポンサー制度の推進	18
5 寄附活動の推進	18
6 国際組織との連絡調整	18
7 文部科学省及び日本体育協会・日本オリンピック委員会との連携強化...	19
8 東日本大震災への支援	19
9 会議開催等	20
10 協会創立 50 周年記念	22
V 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた活動	
1 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会への参画 ...	23
2 スポーツを通じた国際貢献事業	23
3 スポーツ議員連盟との連携	24

総 括

今年度は、当協会が 1965 年に我が国の障がい者スポーツの普及振興を図る統括組織として設立されて丁度 50 周年にあたるが、最近の障がい者スポーツを取り巻く環境の変化は著しい。平成 26 年 4 月に行政所管が厚生労働省から文部科学省へ移り、さらには平成 27 年 10 月にスポーツ庁が新設されて、各省庁で所管していたスポーツに関する業務が庁に一元化された。

そして 3 年前の東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京大会」という)の決定以来、障がい者スポーツへのマスコミや企業、一般国民の関心はこれまでにない高まりを見せており、協会に対するビジョン実現と東京大会の大成功へ向けての期待も益々膨らんできている状況である。

このような中、今年度はこれらの期待に応えるべく、ビジョン実現に向けてのアクションプランの柔軟な見直しと着実な実行、そして東京大会の成功に向けての各種事業に取り組んだ。それは競技力向上やスポーツ環境の向上、障がい者スポーツの普及・振興、そして障がい者スポーツへのさらなる理解促進などの取り組みである。本年度はまた、28 年夏に開催されるリオデジャネイロパラリンピック競技大会への出場をかけたアジアオセアニア予選会等の国内開催や出場に向けての選手強化に力を入れたところである。また、障がい者スポーツの地域振興の事業や地域の障がい者スポーツ組織との連携強化、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、内閣府・スポーツ庁等関係機関との連携充実、民間企業からの支援を充実させる取り組みを行った。さらに全国障害者スポーツ大会の在り方等について委員会を発足し意見を交わした。

協会の体制も、このような事業への取り組みを充実させるため、常務理事を 1 名増やすなど職員体制を強化し職員一丸となって事業に取り組んだ。

○ビジョン実現の推進

ビジョン実現を加速させるため、行政所管の変更、パラリンピック開催準備や選手強化策の拡大などの状況に臨機に応じて、アクションプランを見直し、進捗状況の管理を着実に実施した。また、東京大会成功に向けて、関係機関との連携を深め、各事業実施に向けて積極的な活動を展開した。

○障がい者スポーツの普及・振興

障がい者スポーツの地域振興を推進する方策として、都道府県・指定都市の障がい者スポーツ協会(以下「県等スポーツ協会」という)への組織支援や、県等スポーツ協会、指導者協議会、スポーツ推進委員協議会と連携を強化しつつ、障がい者が地域で日常的にスポーツに参加できる環境の整備、そして指導者の活動の場の拡充を図る事業に取り組んだ。

また、国民への障がいや障がい者スポーツへの理解を進めるための広報活動の充実、全国障害者スポーツ大会や競技別大会の開催、障がい者スポーツ指導者の養成等の事業に積極的に取り組んだ。

○競技力向上対策の推進

障がい者スポーツについても、オリンピックと同様の選手強化に取り組んだ。例えば、新しい事業としてコーチ強化事業、コーチ設置事業を実施するとともに、また、東京大会における日本選手の大活躍が期待される中、ナショナルトレーニングセンターを活用するなどにより選手の競技力向上や、競技団体の基盤強化事業を実施した。

さらに、次世代選手の発掘と育成、強化、トップレベル選手の競技力の強化、医科学に基づく強化支援など更なる選手強化策にも取り組んだ。

具体的な取り組み

I 国際障がい者スポーツ総合大会への選手及び役員の派遣

本年度の国際障がい者スポーツ総合大会関連の選手及び役員の派遣は以下の通りである。

1 2015年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・ロサンゼルス

大会日程	開催地 派遣先	実施競技
平成 27 年 7 月 25 日(土)～8 月 2 日(日)	アメリカ ロサンゼルス	25 競技 (日本選手団は 11 競技に派遣)

2 障がい別総合国際大会への派遣

(1) IBSA ワールドゲームス ソウル 2015(視覚障がい者)

大会日程		開催地 派遣先	実施競技(下線は日本が参加した競技)							獲得メダル		
平成 27 年 5 月 10 日(日) ～ 17 日(日)		韓国 ソウル	9 競技: <u>陸上競技・柔道・ゴールボール・</u> <u>5 人制サッカー(B1、B2/B3)・パワーリフティン</u> <u>グ・テンピンボウリング・水泳・チェス・ショウダ</u> <u>ウン</u>							金 4 個 銀 12 個 銅 7 個		
参 加 内 訳	日本参加競技・役員	選 手			ガイド	コーチ・ スタッフ	医療 スタッフ	スタッフ 合計	合計	金	銀	銅
		男子	女子	合計								
	陸上競技	14	5	19	7	8	0	8	34		6	3
	柔 道	12	4	16		10	0	10	26		1	1
	ゴールボール	6	5	11		11	0	11	22			
	5 人制サッカー(B1/B2・B3)	20	0	20		12	0	12	32			
	パワーリフティング	2	1	3		2	0	2	5			1
	テンピンボウリング	7	5	12		7	0	7	19	4	5	2
合 計		61	20	81	7	56	1	57	145	4	12	7

(2) エクアドル 2015Inasグローバルゲームス(知的障がい者)

大会日程		開催地 派遣先	実施競技(下線は日本が参加した競技)						獲得メダル		
平成 27 年 9 月 20 日(日) ～ 27 日(日)		エクアドル・ グアヤキル/グアラン ダ/クエンカ	8 競技: <u>陸上競技・水泳・卓球・自転車・</u> <u>フットサル・バスケットボール・テニ</u> <u>ス・テコンドー</u>						金 7 個 銀 17 個 銅 18 個		
参 加 内 訳	日本参加競技・役員	選 手			コーチ・ スタッフ	医療 スタッフ	スタッフ 合計	合計	金	銀	銅
		男子	女子	合計							
	陸上競技	20	14	34	10	1	11	45	2	4	5
	水泳	19	7	26	11	1	12	38	5	12	11
	卓球	4	0	4	2	0	2	6		1	2
	フットサル	10	0	10	5	0	5	15			
	バスケットボール	10	10	20	6	0	6	26			
	本部役員(団長含む)	0	0	0	10	2	12	12	-	-	-
合 計		63	31	94	44	4	48	142	7	17	18

Ⅱ 競技力向上対策の推進

1 競技団体が行う強化活動に対する助成

(1) 助成金配分方針

パラリンピック等の競技実績等による基礎配分と、重点強化指定競技への特別配分より、対象競技団体の助成額を設定した。

(2) 助成対象団体

日本パラリンピック委員会に加盟する以下の競技団体とした。

- 1) 肢体不自由、視覚障がい関連競技団体(34 団体)
- 2) 聴覚障がい関連競技団体関係(21 団体)
- 3) 知的障がい関連競技団体(8 団体)

(3) 助成金を用いて実施できる対象事業

1) 選手強化事業

・選手強化活動事業

競技団体の強化指定選手を対象とした国内外で実施する強化合宿及び国外へのチーム派遣又は海外チームの招待等

2) 競技団体選手強化体制整備事業

競技団体における国際競技力向上のための組織基盤強化事業(強化活動にかかる強化委員会等の会議の開催や競技大会の視察及びその他強化体制の整備を図るための事業)

2 選手発掘事業

パラリンピックでのメダル獲得が期待できる選手発掘のため、日本パラリンピック委員会に加盟するパラリンピック実施競技団体(以下「JPC加盟パラ競技団体」)の協力を得て下記の事業を実施した。

(1) 前年度同様、将来のパラリンピック代表選手の発掘を目的に参加体験型の事業を実施。

○将来のパラリンピック代表選手の発掘を目的に参加体験型の事業を実施。

期 日	場 所	参加者数 ()内申込者	実施 競技
平成 27 年 8 月 9 日(日)	東京都障害者総合スポーツセンター	49 名 (59 名)	20 競技
平成 27 年 8 月 26 日(水)	大阪市長居障がい者スポーツセンター 及びヤンマーフィールド長居	43 名 (53 名)	20 競技

(2) 即戦力選手、他競技への変更や一般競技に参加している障がいのある選手の発掘を目的に、トライアウト型の事業を実施。

○即戦力選手の発掘を目的に、他競技への変更や一般の競技会に参加している障がいのある選手を対象とした、トライアウト型の事業を実施。

期 日	場 所	参加者数 ()内申込者	実施 競技
平成 27 年 11 月 3 日 (火祝)	東京都障害者総合スポーツセンター	21 名 (23 名)	15 競技

3 コーチ力強化事業

(1) 専任コーチ設置事業

パラリンピック競技大会をはじめ国際競技大会で、活躍が期待できる競技者を有する JPC 加盟パラ競技団体及び本会に、専任コーチングディレクター、専任メディカルスタッフ(トレーナー)、専任情報・科学スタッフを設置し、選手の育成・強化を効果的に推進した。

(2) コーチ力強化事業

海外の優秀なコーチの招聘又は海外へのコーチ派遣

4 競技団体基盤強化事業

競技団体の事務局支援・強化事業として次の通り実施した。

(1) 競技団体の基盤強化への支援について

1) スポーツ競技団体への法人化研修会の実施

各競技団体の強化費には多額の公金が投入されており、東京 2020 オリパラ大会に向けて国民の注目が高まる中、スポーツ基本法にもあるようにスポーツ団体としての透明性の確保や説明責任等の社会的責任が強く求められるようになり、適正な組織運営が益々重要となることから、登録団体に対する法人化を支援した。

① 第 1 回法人化研修会概要

開催日時 平成 27 年 10 月 18 日(日) 13:00～18:00

場 所 東京シティーエアターミナル会議室

研修会概要 講演 「スポーツ団体のガバナンス」

一般社団法人日本スポーツ法支援・研究センター弁護士 松本泰介氏

・法人化サポートについて

・法人化の手続きの流れ

・サポートの内容の解説

質 疑 一般社団法人日本スポーツ法支援・研究センター

弁護士 大橋卓生氏/弁護士 高松政裕氏

個別相談会

参加団体 10 団体

(日本身体障害者アーチェリー連盟、日本障がい者バドミントン連盟、日本障害者カヌー協会、日本肢体不自由者卓球協会、日本チェアカーリング協会、日本聴覚障害者陸上競技協会、日本ろう自転車協会、日本ろう者水泳協会、日本ろう者テニス協会、日本FIDバスケットボール連盟)

② 第 2 回法人化研修会概要

開催日時 平成 27 年 11 月 15 日(日) 13:00～16:00

場 所 協会会議室

研修会概要 第 1 回と同じ

参加団体 5 団体 (日本障害者カヌー協会、日本脳性麻痺 7 人制サッカー協会、全日本視覚障害者ボウリング協会、日本ろう者ボウリング連合、日本知的障害者卓球連盟)

③ 第 3 回法人化研修会概要

開催日時 平成 27 年 11 月 18 日(水) 18:30～20:30

場 所 協会会議室

研修会概要 第 1 回と同じ

参加団体 1 団体(日本ろう者バドミントン協会)

④ 第 4 回法人化研修会概要

開催日時 平成 27 年 11 月 26 日(木) 13:30～15:30

場 所 協会会議室

研修会概要 第 1 回と同じ

参加団体 1 団体(日本アイススレッジホッケー協会)

(2) 日本財団パラリンピックサポートセンターについて

日本財団が設立し、パラ競技団体に対する組織基盤強化のための支援を行った。

設 立 平成 27 年 5 月 15 日(金)(センターオープンは 11 月 10 日(火))

機 能 共通バックオフィス(経理処理・国際業務のサポートなど)

助成制度(人材の雇用・育成など)

推進戦略(競技の普及・広報、自立化の推進など)

競技団体の入居状況

団体数 21 団体

5 医・科学・情報サポート推進事業の実施

JPC 加盟パラ競技団体を対象に、日本代表選手の競技力強化の為に、医・科学・情報面の支援及び体制構築を行った。

(1) 対象選手に対するメディカルチェック・フィットネスチェック

・ メディカルチェック 24 競技団体・453 件実施(27 年度においては、高地開催予定であった Inas グローバルゲームス参加選手も対象とした)

・ フィットネスチェック 27 競技団体・317 名の選手への実施(帯同・合同測定会 計 34 回実施)

(2) 強化活動への医・科学・情報サポート事業

・ 心理 11 競技団体 29 件実施

・ 栄養 8 競技団体 22 件実施

・ 映像技術 6 競技団体 9 件実施

・ バイオメカニクス 14 競技団体 27 件実施

・ コンディショニング 6 競技団体 16 件実施

・ フィットネスチェック 27 競技団体 22 件実施

(3) 医・科学・情報分野の理解及び活用技術向上のための研修会

(競技団体スタッフ・選手対象)

・ 大研修会 12 月 19・20 日(土・日)実施 場所 JISS 研修室 参加者:93 名

・ 小研修会・集中教育プログラム 11 回実施 参加者:計 73 名

(4) データベース 上記に関する選手データ等の一元管理及び応用活用

(5) 文部科学省委託事業「マルチサポート事業(パラリンピック)」への連携協力

1) アスリート支援(日本スポーツ振興センター受託事業)

2) マルチサポートハウスの設置(日本スポーツ振興センター受託事業)

3) 研究開発の実施(用器具:東京工業大学/コンディショニング:筑波大学受託事業)

6 リオ 2016 パラリンピック競技大会事前現地調査

(1) 団長セミナー

日 程 : 平成 27 年 9 月 12 日(土)~18 日(金)

派 遣 : JPC 事務局長 他 1 名

(2) 事前関係者視察

日 程 : 平成 27 年 11 月 26 日(木)~27 日(金)

派 遣 : 実施競技団体 26 名、JPC 強化委員等 4 名、JSC 5 名、スポーツ庁 1 名、
その他事務局など 8 名 計 44 名

7 強化活動実施状況視察

競技団体が行う強化活動や、国内外で実施される競技大会等を視察し、強化活動が効果的に実施されているかを判断する。また視察に基づき今後の強化計画に反映する。

(1) IBSA 大会視察

日 程 : 平成 27 年 5 月 10 日(日)～13 日(水)

場 所 : 韓国・ソウル

特記事項 : 開会式及び各競技大会を視察。

ソウル市障がい者スポーツ協会との会食(常務理事・団長)

(2) 全国障害者スポーツ大会視察

日 程 : 平成 27 年 10 月 24 日(土)～26 日(月)

場 所 : 和歌山県

特記事項 : JPC 門田トレーナー視察

8 競技別指導者養成事業

本会が制定する「公認 障がい者スポーツ指導者制度」に基づく障がい者スポーツコーチ、障がい者スポーツ医、障がい者スポーツトレーナー講習会の他、各競技における指導者の養成及び資質向上のための支援等を行った。

(1) 国際資格取得・更新講習会への派遣助成 8 団体 10 事業

(2) JPC 加盟競技団体が開催する指導者養成講習会・研修会への助成 11 団体 11 事業

9 強豪国強化拠点視察

国際大会にて好成績を挙げるなど、一定の成果があると思われる海外諸国のナショナルトレーニングセンター等強化拠点を視察し、今後の強化計画に反映する。

・ オランダ NTC 視察 平成 28 年 3 月 24 日(水)～27 日(土)

10 アスナビ事業(トップアスリートのための就職支援)※日本オリンピック委員会との連携事業

世界を目指す現役トップアスリートの就職支援ナビゲーションとして、競技活動に専念できる環境を整えるために、企業からの支援・採用を望むトップアスリートと、採用を検討する企業側の双方にメリットがある、有益なマッチングを実現させることを目的に実施した。

採用実績 15 名

・説明会 平成 27 年 8 月 5 日(金) 札幌市で開催

・アスナビ企業交流会 平成 28 年 1 月 19 日(火) パラサポートセンターにて開催、15 社参加

11 選手強化対策委員会

(1) 日本パラリンピック委員会運営委員会

第 1 回 平成 27 年 6 月 24 日(水)

第 2 回 平成 28 年 3 月 15 日(火)

(2) 日本パラリンピック委員会強化委員会

第 1 回 平成 27 年 4 月 18 日(土)

第 2 回 平成 28 年 2 月 5 日(金)

(3) 競技団体に対する強化計画ヒアリング

平成 27 年度及び今後の強化事業計画等について、日本パラリンピック委員会(JPC)強化委員会によるヒアリングを実施(今年度は夏季および冬季パラリンピック実施競技を対象に実施した。

12 アンチ・ドーピング活動の推進

(1) 教育・啓発事業

平成27年度 アンチ・ドーピング講習会

No	競技団体名	日 時	場 所
1	日本盲人マラソン協会	平成27年5月3日(日)13:30-15:00	富津岬荘(千葉県富津市)
2	日本パラバレーボール協会	平成27年5月2日(土)14:00-16:00	姫路市役所北別館アンドーネ2F(兵庫県姫路市)
3	日本視覚障害者柔道連盟	平成27年5月3日(日)19:00-21:00	住庄ほてる(東京都中央区)
4	日本身体障がい者水泳連盟	平成27年5月4日(月)10:00-11:00	神戸しあわせの村(兵庫県神戸市)
5	日本知的障害者陸上競技連盟	平成27年5月4日(月)13:00-15:00	多治見運動公園星ヶ台陸上競技場(岐阜県多治見市)
6	日本車いすテニス協会	平成27年5月12日(火)15:00-16:30	筑豊ハイツ(福岡県飯塚市)
7	日本チェアカーリング協会	平成27年5月30日(土)13:00-16:00	みちぎんどリームスタジアム(青森県青森市)
8	日本ろうあ者卓球協会	平成27年6月13日(土)19:00-21:00	アーバンホテルつくば(茨城県つくば市)
9	日本障害者スキー連盟 (アルペン・身体)	平成27年6月24日(水)09:00-10:00	国立スポーツ科学センター(東京都北区)
10	日本肢体不自由者卓球協会	平成27年6月26日(金)18:00-21:00	大阪市舞洲障がい者スポーツセンター(大阪府大阪市)
11	日本パラ陸上競技連盟	平成27年7月4日(土)17:00-19:00	町田市立野津田公園陸上競技場(東京都町田市)
12	日本ろう者テニス協会	平成27年7月4日(土)19:00-21:00	国立代々木オリンピックセンター会議室(東京都渋谷区)
13	日本ろう者サッカー協会	平成27年7月18日(土)19:30-21:00	御殿場高原 時之栖ブルーベリーロッジ(静岡県御殿場市)
14	日本ろう者ボウリング連合	平成27年7月18日(土)19:00-21:00	世羅旅館(広島県広島市)
15	日本ブラインドサッカー協会	平成27年7月26日(日)09:30-11:00	戸山サンライズ 1F 小会議室(東京都新宿区)
16	日本パラ陸上競技連盟	平成27年9月19日(土)17:00-19:00	長居障がい者スポーツセンター(大阪府大阪市)
17	日本ウィルチェアラグビー連盟	平成27年9月19日(土)17:00-18:00	国立障害者リハビリテーションセンター 第一体育館 (埼玉県所沢市)
18	日本パラ・パワーリフティング連盟	平成27年9月19日(土)14:00-15:00	キャッスルプラザホテル 会議室(愛知県名古屋市中区)
19	日本パラサイクリング連盟	平成27年9月19日(土)12:30-14:00	日本サイクルスポーツセンター 伊豆パロドローム (静岡県伊豆市)
20	日本ゴールボール協会	平成27年10月31日(土) 13:00-19:00	東京都青梅市総合体育館(東京都青梅市)
21	日本デフバレーボール協会(男子)	平成27年11月22日(日) 19:00-21:00	国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都渋谷区)
22	日本障害者スキー連盟 (クロカン・身体)	平成27年11月5日(木)16:30-18:00	国立スポーツ科学センター(東京都北区)
23	日本トリアスロン連合	平成27年12月6日(日)14:30-15:30	日本財団ビル2階 大会議室(東京都港区)
24	日本デフバレーボール協会 (ビーチバレー)	平成27年12月5日(土)19:00-20:00	東横イン川崎駅前市役所通 1階会議室(東京都川崎市)
25	(公財)日本障がい者スポーツ協会	平成28年1月26日(火)14:00-15:45	日本障がい者スポーツ協会 会議室(東京都中央区)

(2) 競技会検査・競技会外検査

平成 27 年度アンチ・ドーピング競技会検査一覧表

No	大会名	大会期日	場所	主催者
1	全日本パラサイクリング選手権トラック大会	平成 27 年 4 月 11 日(土)	伊豆ベロドローム	一般社団法人日本パラサイクリング連盟
2	第 25 回かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソンかすみがうら大会	平成 27 年 4 月 19 日(日)	川口運動公園陸上競技場	土浦市・かすみがうら市・(公財)日本障がい者スポーツ協会
3	大分陸上 2015	平成 27 年 5 月 2 日(土)	大分スポーツ公園 大分銀行ドーム	日本パラ陸上競技連盟
4	第 43 回日本車椅子バスケットボール選手権大会	平成 27 年 5 月 4 日(月・祝) ～6 日(水・祝)	東京体育館	日本車椅子バスケットボール連盟
5	2015 年度西日本パラ・パワーリフティング選手権大会	平成 27 年 9 月 20 日(日)	名古屋芸術大学/西春キャンパスL棟(体育館)	日本パラ・パワーリフティング連盟
6	第 26 回日本身体障害者陸上競技選手権大会	平成 27 年 7 月 18 日(土)	長居/ヤンマースタジアム	日本パラ陸上競技連盟
7	ジャパンパラサイクリングカップ	平成 27 年 10 月 30 日(金) ～11 月 1 日(日)	日本サイクルスポーツセンター	日本パラサイクリング連盟
8	第 20 回関東身体障害者陸上競技選手権大会	平成 27 年 7 月 5 日(日)	町田市立野津田公園陸上競技場	日本パラ陸上競技連盟
9	第 12 回日本聴覚障害者陸上競技選手権大会	平成 27 年 7 月 18 日(土)	正田醤油スタジアム群馬 (群馬県立敷島公園陸上競技場)	日本聴覚障害者陸上競技協会
10	2015 日本ID陸上競技選手権	平成 27 年 8 月 2 日(日)	万博記念公園陸上競技場	日本知的障害者陸上競技連盟
11	IBSA ブラインドサッカーアジア選手権大会	平成 27 年 9 月 7 日(日)	国立代々木競技場 フットサルコート	大会組織委員会
12	2015 IWBF アジアオセアニアチャンピオンシップ	平成 27 年 10 月 15 日(木)	千葉ポートアリーナ	日本車椅子バスケットボール連盟
13	IWRF 2015 アジア・オセアニアゾーン選手権	平成 27 年 10 月 31 日(土) ～11 月 1 日(日)	千葉ポートアリーナ	日本ウィルチェアーラグビー連盟
14	第 26 回全日本女子車椅子バスケットボール選手権大会	平成 27 年 11 月 21 日(土)～22 日(日)	グリーンアリーナ神戸	日本車椅子バスケットボール連盟
15	第 35 回大分国際車いすマラソン大会	平成 27 年 11 月 8 日(日)	大分市営陸上競技場	日本障がい者スポーツ協会日本 パラリンピック委員会 大分県 他
16	第 28 回全日本障害者ライフル射撃競技選手権大会	平成 27 年 11 月 28 日(土)	長崎県小江原射撃場	日本障害者スポーツ射撃連盟
17	第 46 回防府読売マラソン大会	平成 27 年 12 月 20 日(日)	山口県防府市	日本盲人マラソン協会 防府マラソン大会事務局
18	第17回日本ボッチャ選手権大会	平成 27 年 12 月 26 日(土)	グリーンアリーナ神戸	日本ボッチャ協会
19	第 16 回全日本パラ・パワーリフティング選手権大会	平成 28 年 1 月 10 日(火)	日本体育大学記念講堂	日本パラ・パワーリフティング連盟

No	大会名	大会期日	場所	主催者
20	平成 27 年度春季静岡水泳記録会	平成 28 年 3 月 6 日 (日)	静岡県立水泳場	日本身体障がい者水泳連盟
21	2016 アイススレッジホッケージャパンチャンピオンシップ	平成 28 年 2 月 12 日(金)	ビッグハット(長野県)	日本アイススレッジホッケー協会
22	東京マラソン 2016	平成 28 年 2 月 28 日(日)	東京都	東京マラソン大会事務局
23	2015 ジャパンパラウィルチェアーラグビー競技大会	平成 27 年 5 月 22 日(金) ～23 日(土)	千葉市ポートアリーナ	日本障がい者スポーツ協会日本 パラリンピック委員会
24	2015 ジャパンパラゴールボール競技大会	平成 27 年 8 月 1 日(土)	東京都足立区足立区総合スポーツセンター	日本障がい者スポーツ協会日本 パラリンピック委員会
25	2015 ジャパンパラ水泳競技大会	平成 27 年 9 月 5 日 (土)～6 日(日)	東京都江東区 東京辰巳国際水泳場	日本障がい者スポーツ協会日本 パラリンピック委員会
26	2015 ジャパンパラ陸上競技大会	平成 27 年 9 月 19 日(土) ～20 日(日)	大阪 長居陸上競技場	日本障がい者スポーツ協会日本 パラリンピック委員会
27	2016 ジャパンパラクロスカントリースキー競技大会	平成 28 年 2 月 13 日(土)	白馬スノーハープ(長野 県)	日本障がい者スポーツ協会日本 パラリンピック委員会
28	2016 ジャパンパラアルペンスキー競技大会	平成 28 年 3 月 19 日 (土)～21 日(月)	白馬八方尾根スキー場 (長野県)	日本障がい者スポーツ協会日本 パラリンピック委員会

13 クラス分け戦略の検討

IPCクラス分け規程の改訂版が IPC 総会で承認されたことに伴い、JPC クラス分け規則の新設および戦略の検討を行った。

14 ジャパンパラ競技大会の開催

- (1) パラリンピックや世界選手権大会を目指すトップレベルの選手のために、引き続き国際組織のクラス分け・競技規則を適用したレベルの高い競技大会として本年度は、下記のとおり 5 競技を実施した。

競技名	開催日	参加者等	場 所
ウィルチェアーラグビー	平成 27 年 5 月 22 日(金) ～24 日(日)	4 カ国	千葉ポートアリーナ (千葉県千葉市)
	<参加国> 日本・イギリス・デンマーク・ニュージーランド		
ゴールボール	平成 27 年 7 月 31 日(金) ～8 月 2 日(日)	4 カ国	足立区総合スポーツセンター (東京都足立区)
	<参加国> 日本・韓国・トルコ・ロシア		
水泳	平成 27 年 9 月 5 日(土) ～6 日(日)	268 名	東京国際辰巳国際水泳場 (東京都江東区)
陸上競技	平成 27 年 9 月 19 日(土) ～20 日(日)	319 名	ヤンマースタジアム長居 (大阪市住吉区)
クロスカントリースキー	平成 28 年 2 月 12 日(金) ～14 日(日)	24 名	スノーハープ (長野県北安曇郡白馬村)
アルペンスキー	平成 28 年 3 月 19 日(土) ～21 日(月)	37 名	白馬八方尾根スキー場 (長野県北安曇郡白馬村)

(2) 国民理解への取り組み

2020 東京パラリンピックでの観客満員を見据えて、ジャパンパラ大会での大幅な観客増員を図るための取り組みを積極的に行った。

○ ウィルチェアーラグビー

【体験会】

＜実施校・参加人数＞

4/23(木) 千葉市立弁天小学校	119 名
5/ 7(木) 千葉市立蘇我小学校	123 名
5/15(金) 千葉市立新宿小学校	140 名(講話、簡単なデモンストレーションのみ)
5/18(月) 千葉市立新宿小学校	520 名

＜共通のプログラム＞

- ・ ウィルチェアーラグビー紹介映像(ウィルチェアーラグビー連盟の映像)
- ・ 選手によるデモンストレーション「4 対 4 ミニゲーム」
- ・ 選手による講演
- ・ 児童の競技用車いす体験
- ・ 記念撮影

【大会・会場盛り上げ施策】

- ・ プロのアナウンサーを手配し、競技関係者を解説員に据えた場内実況解説の実施
- ・ 観客がわかりやすく観戦するための競技ガイドブックの新たな制作、配布

○ ゴールボール

【体験会】

＜実施校・参加人数＞

6/18(木) 足立区立北鹿浜小学校	111 名
6/18(木) 足立区立西保木間小学校	215 名

＜共通のプログラム＞

- ・ 競技紹介映像
- ・ デモンストレーション
- ・ 競技体験
- ・ 質疑応答・記念撮影

【大会・会場盛り上げ施策】

- ・ プロのアナウンサーを手配し、競技関係者を解説員に据えた場内実況解説の実施
- ・ 場内の静寂が求められる競技特性を踏まえ場内 FM や超指向性スピーカーにより
- ・ 実況解説を放送
- ・ 観客がわかりやすく観戦するための競技ガイドブックの新たな制作、配布

○ 水泳

【体験会】

＜実施校・参加人数＞

8 月 25 日(火) 江東区立辰巳小学校	98 名
9 月 2 日(水) 江東区立豊洲西小学校	326 名

＜プログラム＞

辰巳小学校

- 講演 1)水泳映像視聴 2)選手講話・質疑応答 3)集合写真
体験 1)解説&デモンストレーション

※気温、水温がプールに入れる規定に達しなかったため、児童の体験は未実施
豊洲西小学校

講演 1)水泳映像視聴 2)選手講話・質疑応答 3)集合写真

体験 1)解説&デモンストレーション

2)実技体験(ブラックコーゲル泳)

3)リレー競泳

【大会・会場盛り上げ施策】

- ・ ライブ映像の撮影隊を配備し、競技映像等を大型ビジョンで配信
- ・ 観客がわかりやすく観戦するための競技ガイドブックの新たな制作、配布

○ 陸上競技

【体験会】実施せず

【大会・会場盛り上げ施策】

- ・ ライブ映像の撮影隊を配備し、競技映像等を大型ビジョンで配信
- ・ 新たな競技ガイドの制作、配布。

15 競技別大会

競技団体との共催により競技力向上のために次の大会を実施した。

(1) 第25回国際盲人マラソンかすみがうら大会(公益財団法人 JKA 補助事業)

開催期間 平成27年4月19日(日)

開催場所 川口運動公園をスタート・ゴールとする霞ヶ浦湖岸周回コース(日本陸連公認)

参加数 視覚障害者130名

(2) 内閣総理大臣杯争奪第43回日本車椅子バスケットボール選手権大会

開催期間 平成27年5月4日(月)～6日(水)

開催場所 東京体育館(東京都渋谷区)

参加数 全国10ブロックでの予選会を勝ち抜いた15チーム及び全国選抜車椅子バスケットボール選手権大会優勝チームの計16チーム

(3) 第35回大分国際車いすマラソン大会

開催期間 平成27年11月8日(日)

開催場所 大分市内公認コース

参加数 マラソン 70名 ハーフマラソン 132名

(4) 第26回全日本女子車椅子バスケットボール選手権大会

開催期間 平成27年11月21日(土)～22日(日)

開催場所 グリーンアリーナ神戸(神戸市須磨区)

参加数 全国7ブロックでの予選会優勝チーム

III 障がい者スポーツの普及・振興

1 第15回全国障害者スポーツ大会(和歌山県大会)

(1) 本大会(公益財団法人 JKA 補助事業)(特別協賛:大同生命保険株式会社)

会 期 平成27年10月24日(土)～26日(月)

開閉会式会場 和歌山県立紀三井寺公園陸上競技場

愛 称 2015 紀の国わかやま大会

大会スローガン 躍動と歓喜、そして絆

参 加 人 数 選手 3,239 名 役員 2,278 名 (計 5,517 名)

オーブン競技 車いすテニス、卓球バレー

(2) 地区予選会(公益財団法人 JKA 補助事業)

会 期 平成 27 年 4 月～6 月

内 容 ブロックごとに身体障がい者、知的障がい者及び精神障がい者の団体競技について予選を行った。

	団体競技名	北海道 東北	関東	北信越 東海	近畿	中国 四国	九州	開催地枠
身体	車椅子バスケットボール	仙台市	千葉市	愛知県	兵庫県	高知県	長崎県	和歌山県
	グランドソフトボール	仙台市	東京都	愛知県	大阪市	広島県	鹿児島県	和歌山県
	バレーボール(男子)	青森県	栃木県	愛知県	兵庫県	鳥取県	長崎県	和歌山県
	バレーボール(女子)	岩手県	神奈川県	岐阜県	兵庫県	広島市	沖縄県	和歌山県
知的	バスケットボール(男子)	秋田県	横浜市	長野県	大阪市	高知県	福岡市	和歌山県
	バスケットボール(女子)	秋田県	東京都	愛知県	堺市	岡山県	沖縄県	和歌山県
	ソフトボール	宮城県	千葉県	岐阜県	奈良県	岡山県	長崎県	和歌山県
	バレーボール(男子)	宮城県	東京都	岐阜県	兵庫県	山口県	北九州市	和歌山県
	バレーボール(女子)	宮城県	東京都	新潟市	兵庫県	高知県	福岡県	和歌山県
	サッカー	札幌市	東京都	岐阜県	大阪府	島根県	沖縄県	和歌山県
	フットベースボール	岩手県	東京都	静岡県	神戸市	山口県	熊本県	和歌山県
精神	バレーボール	青森県	横浜市	名古屋市	大阪府	山口県	福岡県	和歌山県

2 競技別大会

競技団体との共催により障がい者スポーツ普及のために次の大会を実施した。

(1) 厚生労働大臣杯争奪第 27 回日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会

開催期間 平成 27 年 6 月 13 日(土)～14 日(日)

開催場所 パークアリーナ小牧(愛知県小牧市)

参 加 数 各地域の予選会を勝ち抜いた 14 チーム

(2) 第 27 回全国車いす駅伝競走大会

開催期間 平成 28 年 3 月 13 日(日) 11 時 30 分スタート

開催場所 国立京都国際会館前スタート →西京極総合運動公園陸上競技場ゴール
5 区間 21.3 キロ

(3) 厚生労働大臣杯争奪第 45 回全国身体障害者スキー大会

開催期間 平成 28 年 3 月 10 日(木)～12 日(土)

開催場所 安比高原スキー場(岩手県八幡平市)

3 障がい者スポーツ指導者の育成

(1) 障がい者スポーツ指導者養成事業

研修会名	開催期 日	開催場 所	受講者数 (定員)	後援、協力団体
中級障がい者 スポーツ指導員 養成講習会(1)	前期 平成 27 年 7 月 24 日(金)～28 日(火)	仙台市 新田東総合運動場	22 名 (40 名)	共催:仙台市障害者スポーツ協会 協力:宮城県障害者スポーツ協会 宮城県障害者スポーツ指導者協議会 仙台市障害者スポーツ指導者協議会 東北ブロック障害者スポーツ指導者協議会
	後期 平成 28 年 1 月 20 日(水)～24 日(日)	元気フィールド仙台		

研修会名	開催期日	開催場所	受講者数 (定員)	後援、協力団体
中級障がい者 スポーツ指導員 養成講習会(2)	前期平成27年 11月4日(水)～8日(日)	静岡県総合社会 福祉会館 シズウェル	22名 (40名)	協力:公益財団法人静岡県障害者スポーツ協会 静岡県障害者スポーツ指導者協議会 静岡県総合社会福祉会館シズウェル 中部・東海ブロック障がい者スポーツ指導者協議会
	後期平成28年 2月10日(水)～14日(日)			
中級障がい者 スポーツ指導員 養成講習会(3) (日本体育協会 指導者対象)	平成27年 9月10日(木)～13日(日)	大阪市舞洲障がい者 スポーツセンター 大阪市長居障がい者 スポーツセンター	27名 (40名)	後援:公益財団法人日本体育協会 社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会 協力:大阪市障がい者スポーツセンター・スポーツ振興部 大阪障害者スポーツ指導者協議会 近畿ブロック障害者スポーツ指導者協議会
中級障がい者 スポーツ指導員 養成講習会(4) (日本体育協会 指導者対象)	平成27年 11月13日(金)～16日(月)	東京都多摩障害者 スポーツセンター	46名 (40名)	後援:公益財団法人日本体育協会 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会 協力:関東ブロック障がい者スポーツ指導者協議会 東京都障害者スポーツ指導員協議会 東京都多摩障害者スポーツセンター
上級障がい者 スポーツ指導員 養成講習会	前期 平成27年 7月17日(金)～20日(月・祝)	東京都障害者総合 スポーツセンター	34名 (40名)	後援:公益社団法人東京都障害者スポーツ協会 協力:関東ブロック障がい者スポーツ指導者協議会 東京都障害者スポーツ指導員協議会 東京都障害者総合スポーツセンター 東京都多摩障害者スポーツセンター
	後期 平成27年 10月9日(木)～12日(月・祝)	東京都多摩障害者 スポーツセンター		

(2)資質向上のための研修事業

研 修 会 名	開催期日	受講者数 (定員)	後援、主管、協力団体
	開催場所		
全国障害者スポーツ大会 障害区分判定研修会	平成27年7月4日(土)～5日(日)	51名 (60名)	協力:岩手県障がい者社会参加推進センター ふれあいランド岩手 岩手県障がい者スポーツ指導者協議会 東北ブロック障がい者スポーツ指導者協議会
	ふれあいランド岩手		
ステップアップ研修会(1)	平成27年 12月19日(土)	35名 (50名)	後援:しあわせ福井スポーツ協会 協力:しあわせ福井スポーツ協会 福井県障がい者スポーツ指導者協議会 北信越ブロック障害者スポーツ指導者協議会
	福井県社会福祉センター		
ステップアップ研修会(2)	平成28年1月17日(日)	30名 (50名)	後援:社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団 協力:名古屋市障害者スポーツセンター 社福)愛知県社会福祉協議会福祉生きがいセンター 名古屋市障害者スポーツ協会 中部・東海ブロック障害者スポーツ指導者協議会 愛知県障害者スポーツ指導者協議会 名古屋市障害者スポーツ指導者協議会
	名古屋市障害者スポーツセンター		
障がい者スポーツトレーナー ス キルアップ研修会	平成27年9月26日(土)～27日(日) 愛知医療学院短期大学	20名	協力:学校法人 佐愛学園 愛知医療学院短期大学
資格取得認定校 特別研修会	平成27年12月23日(水・祝)	40校	参加対象: 平成28年度資格取得認定校および新規希望校
	大阪市長居障がい者スポーツセンター	49名	

研 修 会 名	開 催 期 日	受講者数 (定員)	後援、主管、協力団体
	開 催 場 所		
第 11 回障がい者スポーツ指導者全国研修会	平成 27 年 11 月 21 日(土) ～22 日(日)	189 名	後援: 東京都 一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会 主管: 第 11 回障がい者スポーツ指導者全国研修会実行委員会 協力: 首都大学東京 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会 東京都障害者総合スポーツセンター 東京都多摩障害者スポーツセンター 関東ブロック障害者スポーツ指導者協議会
	首都大学東京 荒川キャンパス		

4 地域における障がい者スポーツの振興事業

◆地域における障がい者スポーツの振興事業

都道府県・指定都市の障がい者スポーツ協会が、身近な地域において障がい者がスポーツに参加できる環境づくりを目指し、障がい者スポーツ指導者や関係団体と連携して、障がい者向けのスポーツ教室や障がい特性を踏まえたスポーツイベント等を開催した。

No.	団体名	金額 (千円)	事業名／内容
1	北海道障がい者スポーツ協会	2,000	北海道における障がい児者スポーツの振興事業 ① 全道巡回障がい児者スポーツ教室開催事業
2	新潟県障害者スポーツ協会	1,000	NIIGATA 障がい者スポーツ連携推進・人材育成事業 ① 障がい者スポーツ指導員ネットワーク化事業 ② 特別支援学校連携促進事業 ③ スポーツ関係者向け障がい者スポーツ支援者育成事業
3	静岡県障害者スポーツ協会	2,000	静岡県における障がい者スポーツの地域連携振興事業 ① 静岡県地域ネットワーク型障がい者スポーツライアル教室開催事業 ② 静岡県障害者スポーツフォーラム開催事業
4	鳥取県障がい者スポーツ協会	1,000	鳥取県における総合型地域スポーツクラブへの障がい者参加促進事業 ① 障がい者のスポーツ教室事業
5	島根県障害者スポーツ協会	1,000	島根県における冬季障がい者スポーツの理解・障がい者スポーツの振興事業 ① スキー・スノーボード教室の開催 ② チェアスキー・バイスキースタッフ研修会
6	山口県障害者スポーツ協会	2,000	山口県における障害者スポーツ地域推進事業 ① 地域障害者スポーツ教室開催事業 ② 障害者スポーツ体験教室事業 ③ 障害者交流スポーツ大会開催事業 ④ 障害者スポーツ指導者養成及び派遣事業
7	愛媛県障害者スポーツ協会	1,000	愛媛県障害者スポーツ理解啓発事業 ① 愛媛県障害者サイクリング大会(しまなみ海道と島四国めぐり) ② 愛媛県障害者ハンドサイクル等体験会 ③ 愛媛県障害者スポーツ紹介事業(体験事業、普及啓発事業)
8	福岡県障害者スポーツ協会	1,000	福岡県内における障害者スポーツ振興事業 ① スポーツフェスタ(車椅子バスケットボール等) ② マリンスポーツ教室 ③ 車椅子ソフトボール教室
9	鹿児島県障害者スポーツ協会	2,000	鹿児島県障がい者スポーツ普及・振興・強化事業 ① 全国障害者スポーツ大会団体種目普及育成事業(知的障がい者バスケットボール) ② 鹿児島県知的障がい者デュアルレーン方式によるボウリング教室及び大会 ③ 県民レクリエーション祭における障がい者スポーツブース設置事業
10	沖縄県障がい者スポーツ協会	2,000	障がい者スポーツキャラバンおきなわ ① 知的障がい者福祉施設スポーツ・レク教室 ② 特別支援学校等スポーツ教室 ③ 障がい者スポーツチームボウリング大会

◆障害者スポーツ普及・啓発事業(障害者スポーツ理解促進フェスティバル)

全国の障がい者スポーツ協会(指導者協議会)、スポーツセンターと連携し、障がい者スポーツに日頃関わりの少ない地域住民やスポーツ関係者、教員等を対象に障がい者スポーツに触れる機会を提供し、障がい者、障がい者スポーツの理解を深め、障がい者スポーツに今後かかわっていただける支援者、応援者の拡大を図った。

No.	共催団体	内 容	来場者数 スタッフ数
	日 程	会 場	計
1	埼玉県障害者スポーツ協会 埼玉県障害者スポーツ指導者協議会 埼玉県障害者交流センター	・講演会(実践報告含む) ・スポーツ体験、選手によるデモンストレーション ・スポーツ用具、パネル展示 ・ガイドブック等の配布	520 名 160 名
	平成 27 年 9 月 23 日(水・祝)	埼玉県障害者交流センター(さいたま市)	680 名
2	北海道障害者スポーツ指導者協議会 一般財団法人さっぽろ健康スポーツ財団	・スポーツ体験、選手によるデモンストレーション ・スポーツ用具、パネル展示 ・ガイドブック等の配布	140 名 95 名
	平成 27 年 11 月 1 日(日)	札幌市東区体育館(札幌市)	235 名
3	大阪市障害者福祉・スポーツ協会 大阪市長居障がい者スポーツセンター	・トークショー(オリンピック・パリンピック選手の対談) ・スポーツ用具、体験 ・スポーツ用具、パネル展示 ・ガイドブック等の配布	3,300 名 45 名
	平成 27 年 11 月 7 日(日)	なんば CITY B1 ガレリアコート(大阪市)	3,345 名
4	三重県障害者スポーツ協会	・スポーツ体験・教室 ・選手によるデモンストレーション ・スポーツ用具、パネル展示 ・ガイドブック等の配布	315 名 130 名
	平成 28 年 1 月 16 日(土)	四日市ドーム(三重県)	445 名
5	鹿児島県障害者スポーツ協会	・講習会 ・スポーツ体験、選手によるデモンストレーション ・スポーツ用具、パネル展示 ・ガイドブック等の配布	200 名 104 名
	平成 28 年 1 月 30 日(土)	鹿児島県障害者自立交流センター(鹿児島県)	304 名
6	石川県障害者スポーツ指導者協議会	・スポーツ体験、選手によるデモンストレーション ・スポーツ用具、パネル展示 ・ガイドブック等の配布	770 名 107 名
	平成 28 年 2 月 14 日(日)	金沢駅おもてなしドーム広場(石川県)	877 名
7	愛媛県障害者スポーツ協会	・講演会 ・スポーツ体験、選手によるデモンストレーション ・スポーツ用具、パネル展示 ・ガイドブック等の配布	190 名 110 名
	平成 28 年 2 月 20 日(土)	愛媛県心身障害者福祉センター(愛媛県)	300 名

◆8ブロック連絡協議会の開催

各県での障がい者スポーツ振興への取り組みや課題の解決方法等のノウハウをブロック内で共有する場を設定し、各ブロック・県域の障がい者スポーツ振興を促進するための連携体制を構築することを目的に開催した。

ブロック	日程	会 場 (開催地)	参加者数				計
			行政	県協会	指導協	その他	
九 州	7 月 14 日(火)	クローバープラザ (福岡県)	12	14	9		35
中四国	8 月 24 日(月)	岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館 (岡山県)	13	11	10		34
北信越 中部東海	9 月 8 日(火)	岐阜市文化産業交流センター じゅうろくプラザ (岐阜県)	12	14	11		37
近 畿	9 月 14 日(月)	大阪市長居障がい者スポーツセンター (大阪市)	12	13	10		35
東 北	9 月 26 日(土)	元気フィールド仙台 仙台市民球場 (仙台市)	6	8	8		22
北海道	10 月 17 日(土)	札幌市身体障害者福祉センター (札幌市)	2	2	2	4 地区:6 有識者:3	15
関 東	12 月 3 日(木)	東京都障害者総合スポーツセンター (東京都)	17	11	12		40

◆初級障がい者スポーツ指導員養成講習会等の開催事業

今後の地域の障がい者スポーツ振興の中核を担う指導員を継続的に養成する環境を整備するために「障がい者スポーツ指導員」の養成講習会や指導者資質向上のための研修会の開催について支援を行った。国庫補助等で助成されていない地域をはじめ、新たにスポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブスタッフ等を対象とした初級講習会の開催、また有資格者へのスキルアップ研修会を実施した。

No.	団体名	種別	受講対象	修了者
1	群馬県障害者スポーツ協会	初級講習会	対象制限なし	29
2	新潟県障害者スポーツ協会	初級講習会	総合型クラブスタッフ・スポーツ関係者	30
3	静岡県障害者スポーツ協会	初級講習会	対象制限なし	74
4	岐阜県障害者スポーツ協会	初級講習会	スポーツ推進委員、総合型クラブスタッフ	28
5	兵庫県障害者スポーツ協会	初級講習会	対象制限なし	44
6	神戸市社会福祉協議会	初級講習会	スポーツ推進委員、教員、総合型クラブスタッフ	8
7	鳥取県障がい者スポーツ協会	初級講習会	総合型クラブスタッフ	17
8	広島県障害者スポーツ協会	初級講習会	学生(障がい者スポーツボランティア経験者)	20
9	北九州市障害者スポーツ協会	初級講習会	スポーツ推進委員、教員、総合型クラブスタッフ	24
10	佐賀県障害者スポーツ協会	初級講習会	対象制限なし	16
11	鹿児島県障害者スポーツ協会	初級講習会	教員	10
12	新潟県障害者スポーツ協会	スキルアップ研修会	障がい者スポーツ指導員	73
13	山口県障害者スポーツ協会	スキルアップ研修会	障がい者スポーツ指導員	155
14	沖縄県障がい者スポーツ協会	スキルアップ研修会	初級障がい者スポーツ指導員	64

5 障がい者スポーツの広報

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの盛会を視野に入れた広報活動を一般スポーツ団体の広報部局と連携して行うとともに、2020 年以降も継続的に国民の障がい者スポーツに対する理解が促進されるよう中長期的な観点から普及・啓発に取り組んだ。

(1) インターネットメディアを活用した最新情報の提供

協会ウェブサイトやフェイスブック、YouTube 等のインターネットメディアを活用し、障がい者スポーツに関する国内外の最新情報を発信した。

①ジャパンパラ事前告知映像配信

②フェイスブックを利用したジャパンパラの事前告知

(2) 広報冊子等を活用した理解促進

季刊誌「NO LIMIT」をはじめ、障がい者スポーツの歴史や現状、競技紹介・解説冊子、ジャパンパラ競技別観戦ガイドブック等を作成・配布し、障がい者スポーツの理解促進に努めた。

①競技ガイドの作成

ウェルチェアーラグビー、ゴールボール、水泳、陸上、ブラインドサッカー、車椅子バスケットボール、クロスカントリースキー、アルペンスキー

②障がい者スポーツ指導者募集パンフレット作成

③季刊誌「NoLimit」 5 月・8 月・11 月・2 月 発行

(3) ジャパンパラ競技大会を活用した理解促進

ジャパンパラ競技大会の観戦誘致施策を行うとともに、観戦者に対して、場内アナウンスや競技ガイドブックによる競技の解説、スポーツの体験会、選手との交流等の機会を提供し、障がい者スポーツの魅力を体感していただいた。

- ①体験会の実施(別途記載)
- ②プロのアナウンサーによる実況中継
- ③会場内での簡単ガイド配布
- ④自治体によるPR

(4) メディア媒体との連携・協働による普及啓発

障がい者スポーツの普及啓発に取り組むメディア媒体と連携・協働し、障がい者スポーツに関する情報の質と量の拡充を行った。

- ①メディアフォーラムの実施(ゴールボール・車椅子バスケットボール・水泳)
- ②競技別大会レポートの実施
- ③JSC 広報強化セミナー参加

(5) PR ブースの出展

東京マラソン2016EXPOや体育の日中央記念行事「スポーツ祭り」、富士通レディースゴルフの各イベント会場にPRブースを出展し、障がい者スポーツの理解促進に努めた。

6 調査研究事業

専門委員会等で調査研究事業を実施する。

1) 重度障がい者、高齢障がい者の実態調査研究事業

- 調査研究委員会 第1回 平成27年6月30日(火)
第2回 平成27年10月2日(土)
第3回 平成28年1月22日(金)

地域大会の視察

- 大会名(場所) 第16回東京都障害者スポーツ大会ボッチャ競技(東京体育館)
開催日 平成27年7月25日(土)
- 大会名(場所) 静岡県障害者スポーツ大会わかふじスポーツ大会(ボッチャ)
(静岡市中央体育館)
開催日 平成27年9月20日(日)
- 大会名(場所) 彩の国ふれあいボッチャ大会(埼玉県立武道館)
開催日 平成27年12月5日(土)
- 大会名(場所) 第17回日本ボッチャ選手大会(神戸総合運動公園)
開催日 平成27年12月25日(金)～27日(日)

2) 障がい者スポーツの環境整備に関するガイドライン策定のための調査研究事業

- 調査研究委員会 第1回 平成27年6月23日(火)
第2回 平成27年10月15日(木)
第3回 平成28年1月19日(火)
- 現場実態調査 平成27年11月26日(木) 長野障がい者福祉センター サンアップル
平成27年12月1日(火) 大阪市長居障がい者スポーツセンター

IV 事業活動推進のための取り組み

- 1 日本の障がい者スポーツの将来像(ビジョン)の推進
障がい者スポーツの統括団体として、スポーツ基本法及びスポーツ基本計画の理念・方針に沿った日本の障がい者スポーツの将来像(2030 年までの長期ビジョン)の達成に向けたアクションプランに基づき、具体的な各施策を着実に推進した。
- 2 倫理・コンプライアンスに関する取り組み
暴力及びセクシャルハラスメント、不正経理等の倫理・コンプライアンス違反根絶のために、当協会・日本パラリンピック委員会及び登録・加盟競技団体における倫理・コンプライアンスに関するガイドラインを策定中であり、早い時期での導入を検討している。
- 3 国庫補助金と助成団体(日本スポーツ振興センター・JKA)助成金の確保
事業実施に必要な体制整備のためには財政基盤の安定が不可欠であり、平成 27 年度も国及び民間助成団体に、障がい者スポーツの現況等について理解を求め、その結果、必要な公的財源を確保することができた。
- 4 JPSA オフィシャルスポンサー制度の推進
当協会がめざすビジョンに賛同し、障がい者スポーツの普及・振興施策に参画・協働する JPSA 協賛企業の獲得に努めた。(平成 28 年 3 月末現在 23 社)
- 5 寄附活動の推進
パラリンピックメダル受賞者に対する報奨金及び選手の育成強化のため、従来からの寄附の継続や寄付の拡大を図った。
- 6 国際組織との連絡調整
国際パラリンピック委員会をはじめとする国際組織に加盟し、連絡・調整を図るため、本年度は次の国際会議に参加した。
 - (1) IPC 総会
日程 平成 27 年 11 月 14 日(土)・15 日(日)/場所 メキシコ・メキシコシティ
※同時開催 IPC 理事会(11 月 12 日～13 日)
 - (2) IPC 理事会
日程 平成 27 年 6 月 5 日(金)～7 日(日)/場所 日本・東京
 - (3) IPC VISTA 2015 会議
日程 平成 27 年 10 月 7 日(水)～10 日(土)/場所 スペイン・ジローナ
 - (4) IPC 理事会準備会議
日程 平成 27 年 5 月 28 日(木)/場所 ドイツ・ボン(IPC 本部)
 - (5) APC 理事会
日程 平成 27 年 5 月 12 日(火)/場所 UAE・アブダビ
 - (6) APC 理事会
日程 平成 28 年 1 月 30 日(土)～31 日(日)/場所 サウジアラビア・リヤド
 - (7) APC ギャザリング
日程 平成 27 年 5 月 9 日(土)～11 日(月)/場所 UAE・アブダビ
 - (8) Inas 理事会
日程 平成 27 年 4 月 10 日(金)・12 日(日)・14 日(火)/場所 イギリス・シェフィールド
 - (9) Inas 総会
日程 平成 27 年 4 月 11 日(土)～12 日(日)/場所 イギリス・シェフィールド

(10) Inas 技術委員会

日程 平成 27 年 4 月 9 日(木)/場所 イギリス・シェフィールド

(11) Inas Asia 総会

日程 平成 27 年 4 月 14 日(火)/場所 イギリス・シェフィールド

7 文部科学省(スポーツ庁)及び日本体育協会・日本オリンピック委員会との連携強化

(1) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2016(スポーツ庁主催)へ参画

- ・ 開催日 平成 28 年 2 月 5 日(金)
場 所 福島県郡山市 ホテルハマツ
- ・ 分科会「今後の障がい者スポーツに推進に向けた組織連携と協働」
～身近なスポーツ環境づくりに向けて～
- ・ 実行委員会 第 1 回 平成 27 年 6 月 16 日(火)
第 2 回 平成 27 年 10 月 5 日(月)
第 3 回 平成 28 年 1 月 15 日(金)
第 4 回 平成 28 年 3 月 17 日(木)
- ・ 会場視察 平成 27 年 8 月 7 日(金)

(2) 生涯スポーツ推進委員会(公益財団法人日本体育協会主催)へ出席

(3) 全国スポーツ指導者連絡会議(公益財団法人日本体育協会主催)へ出席

(4) 文部科学省、日本体育協会各種会議へ参画

日本体育協会関係

- ・ 日本体育協会スポーツ指導者育成専門委員会理事会及び全国スポーツ指導者連絡会議へ出席
開催日 平成 27 年 12 月 11 日(金)
- ・ 指導者育成 50 周年記念式典出席 開催日 平成 27 年 12 月 13 日(日)
- ・ 「コーチング・イノベーション推進事業」
コーチング育成のための「モデル・コア・カリキュラム」作成ワーキンググループ会議へ参画
第 1 回 平成 27 年 5 月 28 日(木)
第 2 回 平成 27 年 8 月 5 日(水)
第 3 回 平成 27 年 9 月 4 日(金)
第 4 回 平成 27 年 11 月 6 日(金)
第 5 回 平成 27 年 12 月 27 日(金)
第 6 回 平成 28 年 1 月 21 日(木)
第 7 回 平成 28 年 2 月 9 日(火)
- ・ 「アスリート・アントラージュ(選手を支えるもの)」に関する調査
日 程 平成 27 年 9 月 3 日(木)

(5) スポーツ少年団 5 か年計画活動開発会議へ参画(日本体育協会主催)

(6) アスナビ事業(トップアスリートのための就職支援)での日本オリンピック委員会との連携

(7) ナショナルトレーニングセンター共同利用協議会へ参画

8 東日本大震災への支援

東日本大震災復興支援については、被災地 4 障がい者スポーツ協会(岩手県、宮城県、福島県、仙台市)と連携した支援として、文化活動へのパラアスリートの参加、競技大会誘致、タレント発掘、事前キャンプ支援などを取り進めるとともに、当協会が開催する事業、行事に冠名称を付けた。また、関係団体・施設宛に開催する事業等に冠名称等を明記し広く周知していただく旨の依頼をした。

9 会議開催等

(1) 平成 27 年度障がい者スポーツ協会協議会、障がい者スポーツ指導者協議会及び障がい者スポーツ競技団体協議会の開催

1) 平成 27 年度障がい者スポーツ競技団体協議会(加盟団体協議会)

日 時 平成 28 年 3 月 2 日(水) 12:00～18:00

場 所 ヒルトン東京お台場

2) 平成 27 年度障がい者スポーツ協会協議会・障がい者スポーツ指導者協議会

日 時 平成 28 年 3 月 3 日(木) 12:00～15:30

場 所 ヒルトン東京お台場

3) 障がい者スポーツ info2016

日 時 平成 28 年 3 月 4 日(金) 10:00～12:00

場 所 ヒルトン東京お台場

(2) 理事会・評議員会の開催

1) 評議員会

定時評議員会

日 時 平成 27 年 6 月 25 日(木) 13:30～15:30

場 所 T-CAT

議 題 ・議長の選出について

・平成 26 年度決算報告書(案)について

・評議員の改選について

・理事の改選について

・監事の改選について

・役員報酬規程の改正について

臨時評議員会

日 時 平成 27 年 11 月 20 日(金) 13:30～15:30

場 所 T-CAT

議 題 ・議長の選出について

・報告事項

2) 理事会

定例理事会(6 月)

日 時 平成 27 年 6 月 9 日(火) 13:30～15:30

場 所 協会会議室

議 題 ・平成 26 年度事業報告(案)について

・平成 26 年度決算報告書(案)について

・事務局長の任命について

・役員報酬規程の改正について

臨時理事会

日 時 平成 27 年 6 月 25 日(木) 16:00～17:00

場 所 T-CAT

議 題 ・人事案件について(常務理事の互選)

・会長、副会長、常務理事の委嘱について

・日本パラリンピック委員会運営委員の委嘱について

・平成 27 年度公益財団法人 JKA 競輪補助事業の受託(案)について
定例理事会(9 月)

日 時 平成 27 年 9 月 25 日(金) 13:30～15:30

場 所 協会会議室

議 題 ・日本パラリンピック委員会運営委員の委嘱(案)について
・倫理委員会委員の選任(案)について
・平成 27 年度臨時評議員会の召集(案)について

定例理事会(12 月)

日 時 平成 27 年 12 月 11 日(金) 13:30～15:30

場 所 協会会議室

議 題 ・平成 27 年度 収入支出補正予算(案)について

定例理事会(3 月)

日 時 平成 28 年 3 月 16 日(水) 13:30～15:30

場 所 協会会議室

議 題 ・平成 28 年度事業計画(案)について
・平成 28 年度収支予算(案)について
・平成 28 年度定時評議員会の招集(案)について

(3) 全国障害者スポーツ大会 関係委員会

1) 在り方委員会

- ・ 第 1 回 日 時 平成 27 年 7 月 21 日(水)13:30～16:00
場 所 T-CAT
- ・ 第 2 回 日 時 平成 27 年 12 月 15 日(火)14:00～16:00
場 所 T-CAT
- ・ 第 3 回 日 時 平成 28 年 3 月 24 日(木)14:00～16:00
場 所 T-CAT

2) 大会委員会

- ・ 第 1 回 日 時 平成 27 年 12 月 8 日(火)14:00～16:00
場 所 T-CAT
- ・ 第 2 回 日 時 平成 28 年 2 月 25 日(木)13:30～15:30
場 所 T-CAT

(4) 専門委員会(技術委員会・医学委員会・科学委員会)の開催

1) 技術委員会

- ・ 第 1 回 平成 27 年 7 月 28 日(火)
- ・ 指導者班 平成 27 年 10 月 8 日(月)
平成 28 年 1 月 18 日(金)
平成 28 年 2 月 26 日(金)
- ・ 全スポ班 平成 28 年 2 月 8 日(月)
- ・ 全国障害者スポーツ大会班
平成 27 年 8 月 31 日(月)
平成 27 年 10 月 22 日(木)～27 日(火)大会視察
平成 27 年 11 月 13 日(金)
- ・ 地域振興班 平成 28 年 1 月 21 日(木)
平成 28 年 3 月 9 日(水)

2) 医学委員会

- ・ アンチ・ドーピング部会を「使用薬物調査グループ」「教育・啓発グループ」に分け、より充実した支援を行った。

会議

- ・ 第1回 平成27年6月21日(日)
- ・ チームドクター連絡会議 平成27年12月23日(水・祝)
- ・ クラス分け部会 平成27年7月22日(水)
平成28年3月15日(火)

3) 科学委員会

- ・ 第1回 平成27年4月26日(日)
- ・ 第2回 平成27年7月12日(日)
- ・ 第3回 平成28年1月29日(金)

(5) 障がい者スポーツ指導者協議会

1) アクションプラン策定会議

第1回 平成27年4月29日(水・祝)

2) 運営委員会 第1回 平成27年5月11日(月)

第2回 平成27年11月9日(月)

第3回 平成28年3月2日(水)

3) 研修部会 第1回 平成27年5月14日(木)

第2回 平成27年10月12日(月・祝)

第3回 平成28年1月31日(日)

4) 情報部会 第1回 平成27年6月12日(金)

第2回 平成27年11月12日(木)

第3回 平成28年2月3日(水)

5) 指導部会 第1回 平成27年6月8日(月)

第2回 平成27年10月29日(木)

第3回 平成28年2月24日(火)

6) 第11回障がい者スポーツ指導者全国研修会

平成27年11月21日(土)22日(日)

首都大学東京荒川キャンパス

(6) 表彰等

会長表彰等(特別功労章、功労章、特別賞、感謝状)

日 時 平成28年3月3日(木)

場 所 ヒルトン東京お台場

内 容 特別功労章・功労章・特別賞の表彰

感謝状の贈呈

10 協会創立50周年記念式典

日 時 平成27年5月26日(火) 15:00～17:30

場 所 ベルサール東京日本橋

(中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー地下2階)

出席者 299名(国等関係団体、競技団体、県等スポーツ協会、指導者協議会、

理事・評議員、旧役職員等功労者、協賛各社、パラアスリート等
に加えて当協会役職員、随行者も含む)

内 容 【記念式典】13:00～14:00

- ・主催者代表挨拶(鳥原会長)
- ・来賓祝辞(森組織委員会会長、山中文科省事務次官、秋山東京都副知事)
- ・50 年を振り返って(北郷前会長、井手元常務理事)
- ・コミュニケーションマークお披露目

【祝賀会】16:20～17:30

- ・主催者代表挨拶(山田常務理事)
- ・来賓祝辞(下村文科大臣)
- ・パラ議連代表挨拶(中曽根会長)
- ・協賛企業代表挨拶・乾杯の発声(植木日本航空社長)
- ・閉会挨拶(伍藤副会長)

V 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた活動

世界でも初の事例となる、同一都市で 2 回目の夏季パラリンピックの日本開催成功に向けて、当協会の組織体制を整え、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、内閣府・スポーツ庁等の関係機関及び障がい者スポーツ競技団体、都道府県・指定都市スポーツ協会・スポーツ指導者協議会等と連携をとりながら積極的な活動を行った。

1 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会への参画

(1) IOC 及び IPC との会議

1) IPC エグゼクティブプロジェクトレビュー

平成 27 年 6 月 3 日(水)

2) IOC プロジェクトレビュー

第 4 回 平成 27 年 10 月 13 日(火)～14 日(水)

第 5 回 平成 28 年 1 月 21 日(木)～22 日(金)

(2) アクション&レガシープラン会議

- ① スポーツ・健康
- ② 文化・スポーツ
- ③ 復興・オールジャパン・世界への発信
- ④ 街づくり・持続可能性
- ⑤ 経済・テクノロジー

2 スポーツを通じた国際貢献事業(Sport for Tomorrow)

(1) パラスポーツ講習会(フライングディスク)

日 程 平成 27 年 7 月 31 日(金)

場 所 ジンバブエ・ハラレ

(2) パラスポーツ講習会(車椅子バスケットボール、車いすテニス)・交流会

日 程 平成 27 年 9 月 22 日(火)～10 月 4 日(日)

場 所 ジンバブエ・ハラレ

共 催 国際交流基金

(3) NPC ベトナムへの選手強化支援事業(パワーリフティング・水泳)

日 程 平成 27 年 11 月 3 日(火)～10 日(火)

場 所 大分県別府市(パワーリフティング)・宮城県宮城郡利府町(水泳)

共 催 外務省

(4) オランダ首相来日にかかる車椅子バスケットボールイベント

日 程 平成 27 年 11 月 9 日(月)

場 所 東京都港区

共 催 在日オランダ王国大使館

(5) NPC カザフスタンへの組織運営についてのワークショップ

日 程 平成 28 年 2 月 8 日(月)～14 日(日)

場 所 日本障がい者スポーツ協会会議室

共 催 外務省

(6) 「パラスポーツマネジメントプログラム」説明会

日 程 平成 28 年 2 月 27 日(土)～28 日(日)

場 所 マレーシア・クアラルンプール

共 催 日本スポーツ振興センター・IPC アギトス基金

3 スポーツ議員連盟との連携

スポーツ議員連盟、障がい者スポーツ・パラリンピック推進議員連盟の会議に出席し、東京 2020 パラリンピック大会の成功に向けて、障がい者スポーツへの理解や協会としての要望・提案等を行った。

「2020 年パラリンピック東京大会成功ワーキングチーム」会議への出席

第 1 回 平成 27 年 4 月 21 日(火)

第 2 回 平成 27 年 5 月 14 日(木)

第 3 回 平成 27 年 6 月 11 日(木)

第 4 回 平成 27 年 6 月 26 日(金)

第 5 回 平成 27 年 7 月 7 日(火)

第 6 回 平成 27 年 8 月 27 日(木)

第 7 回 平成 28 年 2 月 1 日(月)